

着任のご挨拶

秦野養護学校のホームページをご覧くださいありがとうございます。

皆様はじめまして。令和4年4月に秦野養護学校校長に着任いたしました、杉崎郁夫です。どうぞよろしくお願いいたします。

本校は、隣接する神奈川病院に長期入院中の学齢の子どもたちに教育を保障するため、昭和33年に病弱教育を行う養護学校として設立されました。その後、様々な変遷を経て、現在の「4つの教育の場（落合校舎、末広校舎、弘済学園、神奈川リハビリテーション病院）」、「3つの教育部門（病弱、知的障害、肢体不自由）」を有する特別支援学校に生まれ変わりました。

保護者の皆様をはじめ、病院、施設、地域、関係機関など、多くの皆様に支えていただきながら、ここに至ることができました。深く感謝申し上げます。

本校は「ともにあゆむ総合的な特別支援学校」を理念としています。

共生社会の実現をめざし、地域の皆様に感謝し、連携を深めながら、安心と信頼に根ざした学校づくりを進めます。すべては子どもたちのために！

～共生社会（Diversity & Inclusion）の実現に向けて～

ともにくらし ともにいき

「ともに歩む総合的な特別支援学校」をめざして

ともにまなび ともにそだつ

【めざす学校像】

- 多様な教育部門を持つ「ともに歩む総合的な特別支援学校」
 - ・児童生徒が「毎日行きたい」と感じる学校
 - ・保護者が子どもを「毎日登校させたい」と感じる学校
 - ・地域や関係機関が「利用したい、応援したい、手をつなぎたい」と感じる学校
 - ・教職員が学び合い、支え合い、働きがいを感じられる学校

【めざす児童生徒像】

- めあてを持って、やりぬく子ども
- 「よさ・強み・持ち味」を十分に発揮できる子ども
- 自分を大切に、他の人の幸せを願える子ども

教職員一同力を合わせ、本校の教育理念に基づき、充実した毎日を積み上げてまいります。どうぞよろしくお願いいたします。

秦野養護学校長 杉崎 郁夫

